



Vol.247

令和3年8月17日発行

土浦市議会だより

T S U C H I U R A C I T Y C O U N C I L

令和3年第1回臨時会を開催しました

(5月14日)

- 新型コロナウイルス感染症対策のための令和3年度土浦市一般会計補正予算(第3回)を原案どおり可決しました。(2ページ)

令和3年第2回定例会を開催しました

(6月1日から6月17日まで)

- 土浦市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正についてなどの条例改正のほか、令和3年度土浦市一般会計補正予算(第4回)などを原案どおり可決しました。(2・3ページ)
- 勝田達也議員が副議長に就任しました。

目次

●表紙	1
●令和3年第1回臨時会の結果	2
●令和3年第2回定例会の結果	2・3
●一般質問	
矢口勝雄・勝田達也・奥谷崇	4
久松猛・柏村忠志・平石勝司	5
下村壽郎・鈴木一彦・篠塚昌毅	6
福田一夫・吉田千鶴子・目黒英一	7
●令和3年第3回定例会(9月)の日程(予定)	8
●編集後記	8

<インターネットで市議会の模様が見られます>

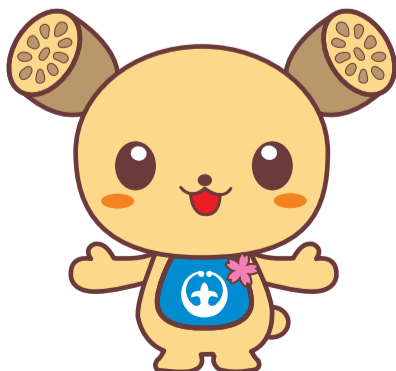
土浦市のホームページから「土浦市議会」→「本会議録画配信」を選択してください。

<議会の会議録は次の施設で閲覧できます>

- 土浦市立図書館
 - 各中学校区の地区公民館
 - 支所・出張所(都和・南・上大津・新治・神立)
- ※最新となる会議録(令和3年第2回)は、8月下旬に閲覧可能となります。



左から、内田議員、柴原議員



永年在職議員表彰

全国市議会議長会、茨城県市議会議長会より、永年在職議員として2名の議員が表彰されました。

【議員在職30年以上】
全国茨城県 内田 卓男

【議員在職20年以上】
全国茨城県 柴原 伊一郎

第1回土浦市議会臨時会の結果



第1回臨時会では、新型コロナウイルス感染症対策のため、市立保育所の消毒液等の購入費及び私立保育園等の衛生用品購入費等に対する保育環境改善等事業費補助金を計上する民生費など、歳入歳出それぞれ10億3千642万8千円追加する令和3年度土浦市一般会計補正予算(第3回)を原案どおり可決しました。

令和3年度土浦市
一般会計補正予算
(第3回)を原案可決

議案等審議結果

議案番号等	件名	上程年月日	議決年月日	結果
	会期の件	3.5.14	3.5.14	原案可決
報告第8号	専決処分の承認について (土浦市税条例等の一部改正について)	3.5.14	3.5.14	承認
報告第9号	専決処分の承認について (土浦市国民健康保険税条例の一部改正について)	3.5.14	3.5.14	承認
報告第10号	専決処分の承認について (令和2年度土浦市後期高齢者医療特別会計補正予算(第4回))	3.5.14	3.5.14	承認
報告第11号	専決処分の承認について (令和3年度土浦市一般会計補正予算(第1回))	3.5.14	3.5.14	承認
報告第12号	専決処分の承認について (令和3年度土浦市一般会計補正予算(第2回))	3.5.14	3.5.14	承認
報告第13号	専決処分の報告について(和解について)	3.5.14	3.5.14	報告
報告第14号	専決処分の報告について(和解について)	3.5.14	3.5.14	報告
報告第15号	専決処分の報告について (損害賠償の額の決定について)	3.5.14	3.5.14	報告
議案第37号	令和3年度土浦市一般会計補正予算(第3回)	3.5.14	3.5.14	原案可決

定例会と臨時会

議会の種類には、定例会と臨時会があります。

定例会とは、定期的で開催する会議で、土浦市議会基本条例で1年に4回開くことを定めており、通例で3月、6月、9月、12月に開催しています。

臨時会とは、定例会が開かれていない間で、必要がある場合において特定の事件に限り招集される会議をいいます。定例会・臨時会ともに、市長が招集します。また、議長もしくは議員定数の4分の1以上の議員は、市長に対して案件を明示して臨時会の招集を請求することができます。

第2回土浦市議会定例会の結果



第2回定例会は、6月1日から17日までの17日間の会期で開催し、土浦市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正や、令和3年度土浦市一般会計補正予算(第4回)などの市長から提出された議案等8件の審議を行い、原案どおり可決しました。また、委員会から提出された委員会議案1件について、原案どおり可決しました。(議案等議決結果の一覧は次ページ)

条例に関する議案等
8件を原案可決

第2回定例会議案等議決結果

議案番号等	件名	上程年月日	議決年月日	結果	議案番号等	件名	上程年月日	議決年月日	結果
	会期の件	3.6.1	3.6.1	原案可決	議案第38号	土浦市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	3.6.1	3.6.17	原案可決
報告第16号	予算の繰越しについて (令和2年度土浦市一般会計繰越明許費繰越計算書)	3.6.1	3.6.1	報告	議案第39号	土浦市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	3.6.1	3.6.17	原案可決
報告第17号	予算の繰越しについて (令和2年度土浦市一般会計事故繰越繰越計算書)	3.6.1	3.6.1	報告	議案第40号	土浦市立学校の設置及び管理に関する条例の一部改正について	3.6.1	3.6.17	原案可決
報告第18号	予算の繰越しについて (令和2年度土浦市駐車場事業特別会計繰越明許費繰越計算書)	3.6.1	3.6.1	報告	議案第41号	令和3年度土浦市一般会計補正予算(第4回)	3.6.1	3.6.17	原案可決
報告第19号	予算の繰越しについて (令和2年度土浦市農業集落排水事業特別会計繰越明許費繰越計算書)	3.6.1	3.6.1	報告	議案第42号	令和3年度土浦市国民健康保険特別会計補正予算(第1回)	3.6.1	3.6.17	原案可決
報告第20号	予算の繰越しについて (令和2年度土浦市下水道事業会計継続費繰越計算書)	3.6.1	3.6.1	報告	議案第43号	令和3年度土浦市介護保険特別会計補正予算(第1回)	3.6.1	3.6.17	原案可決
報告第21号	予算の繰越しについて (平成2年度土浦市下水道事業会計予算繰越計算書)	3.6.1	3.6.1	報告	議案第44号	常磐線荒川沖・土浦間岩柳こ線人道橋架替外1工事の施行協定の締結について	3.6.1	3.6.17	原案可決
報告第22号	予算の繰越しについて (令和2年度土浦市水道事業会計予算繰越計算書)	3.6.1	3.6.1	報告	議案第45号	財産の取得について(つちうらリモートコンサルジュシステム構築に係る機器購入)	3.6.1	3.6.17	原案可決
報告第23号	一般財団法人土浦市産業文化事業団の令和3年度事業計画について	3.6.1	3.6.1	報告	委員会提出議案第5号	安心・安全の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための意見書	3.6.17	3.6.17	原案可決
報告第24号	一般財団法人土浦市農業公社の令和3年度事業計画について	3.6.1	3.6.1	報告		閉会中の事務調査について	3.6.17	3.6.17	原案可決
報告第25号	株式会社ラクスマリーナの令和3年度事業計画について	3.6.1	3.6.1	報告					

新副議長が決定しました

最終日に島岡副議長から辞任届が提出され、同日、副議長の選挙を行い、勝田達也議員が新しい副議長に決まりました。

就任のごあいさつ



副議長 勝田 達也

日頃より市議会に對しまして、御理解と御協力をいただき心から感謝申し上げます。令和3年度6月定例会におきまして、第53代副議長に就任いたしました勝田達也です。歴史と伝統ある土浦市議会の副議長に選出され、身の引き締まる思いです。

市議会は市民の皆様にとり一番身近な議会として、市民生活に関わる予算や条例などの議案審議及び請願・陳情の審査など、多岐にわたり意思決定を行う議決機関です。新型コロナウイルス対策に全力を傾け、同時にコロナ後の時代に対応した安心安全のまちづくりを目指します。様々な課題について執行部と真摯に議論を行い、二元代表制の一翼を担う意思決定機関としての役割を十分に果たしてまいります。

副議長として小坂議長を補佐し、義務先行の精神と謙虚な姿勢での学びを旨とし、皆様のお声を市政に届け、市政の発展と市民福祉の向上に邁進することをお誓い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

請願・陳情の結果

今定例会では、請願2件、陳情1件の審査を行い、陳情1件が一部採択となりました。

受理番号	件名	上程年月日	議決年月日	結果
3	「安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための意見書」を国に提出することを求める陳情書	3.6.1	3.6.17	一部採択
4	茨城県地域防災計画(原子力災害対策計画編)にコロナ等の感染症対策を取り入れることについて茨城県知事へ意見書を提出することを求める請願	3.6.1	3.6.17	継続審査
5	第6次エネルギー基本計画の改定に向けて、国へ意見書提出を求める請願書	3.6.1	3.6.17	継続審査

一般質問



矢口 勝雄
〈一括質問〉

Maas実証実験の 成果と今後について

①どのような実験を行ったのか
②この実験でどのようなことが分かったのか、今後の施策として活かせる具体的なことはあるか

Maasが目指すのは、デジタルの力を利用して、環境にやさしく、車を自分で運転できないくとも文化的で持続可能な暮らしと地域づくりを可能にすることです。
この考えは移動弱者に対する課題解決になると私は期待しています。そこで先ほども実施された「うちうちMaas実証実験」について伺います。

A

【船沢都市政策部長】

①うちうちMaasは、観光資源を活かした観光客の増加と地域公共交通の充実を図るため、サイクルツーリズム、超小型モビリティ、コミュニティバスに、キャッシュレス、AI、自動運転を組み合わせたMaasの実装に向けた実証実験を展開し、観光客の市内周遊促進、中心市街地の活性化と持続可能な公共交通の在り方を検証するものです。

実証実験は、1、乗換え案内アプリでの各種チケット販売・利用。2、川は霞ヶ浦のりんりんロードでの電動キックボード走行実験。3、AIコミュニティバス運行実験。4、自動運転1人乗りロボタクシー走行実験の4つの実証実験を行っています。

一般質問とは 市政一般について市長などの執行部の考え、方針を質問することです。議会だよりでは紙面の都合上、質問の部要旨を掲載しています。今定例会では、「一括質問・一括答弁」方式を選択した議員が9名、「問」答」方式を選択した議員は3名おりました。

② 今回の実証実験では、乗換え案内、アプリによるキャッシュレス化実験は、会員登録の手続の煩雑さや、取扱店の拡大などが課題として挙げられています。電動キックボードは、参加者の約97%が新しい移動手段として使えると回答されました。AIコミュニティバス運行実験は、利用者数はあまり多くなかったものの、デマンド交通による輸送方法は、最短ルートで運行するため通常のバスと比べ運用の効率化、待ち時間の低減に寄与するものと思われまます。また、マイナンバーカードや顔認証の実験では、高齢者に携帯させることについて不安視する意見や、導入費用の課題はあるものの、利用者からは好評を得たと伺っております。

自動運転1人乗りロボタクシーの走行実験は、降雨・強風時への対応などが課題ですが、9割以上の参加者から今後も利用したいとの回答が寄せられました。今後の施策として活かせる具体的なこととして、AIコミュニティバスに使用した予約システムは、AIが最短、最適なルートを導き、通常のバスに比べ運用の効率化、待ち時間の低減に寄与することから、新規の公共交通を導入する際の方法の1つとして考えられます。

Maasに関しては、様々な地域で実証実験が行われ、さらなる技術向上が見込まれますことから、うちうちMaas推進協議会の活動を通じて、今後の実証実験を注視し、民間主体で進める取組について協力してまいりたい。

その他の質問

公文書における「読点」の使用方法について



勝田 達也
〈一括質問〉

義務教育の教育方針について

①経験していない正解のない問題に挑戦し、自分なりの解決策を考えだす知性が必要だと考えます。その基礎を義務教育の段階で学ぶ必要があると考えますが、ご所見をお伺いします。

②コロナをはじめ、様々な問題を視野を広げて解決していくには、異なる価値観を理解した上で、他人を認める感性が必要であり、義務教育の段階で学ぶ必要があると考えますが、ご所見をお伺いします。

③危機管理の際の意思決定の基本方針をお伺いします。

④コロナ禍への対応を経験して得たものと、それを今後どのように活かしていくのかお伺いします。

A

【入野教育長】

①学習活動を通して、これからの予測困難な時代に、未知の事案に出会った場合であっても、対応できる力を育成するよう、今後も努めてまいりたいと考えっております。

②多様な価値観を理解した上で、他者、他人を認める感性を、義務教育段階で学ぶことは、グローバル化の進展が著しい現代社会におきましては、極めて重要であると考えます。

対話的な学びを推進し、異なる価値観を理解した上で、他者、他人を認める感性を今後も継続して育んでいきたいと考えます。

③危機管理上、一番重要なことは児童生徒の生命であり、教育行政の責任者として、学校とよく意見交換、協議をしながら、責任を持って危機管理の判断を行ってまいりたい。

④次の4点を学んだと考えます。
・継続して学校教育を活動するために、可能な限りICT機器の活用、新しい子どもたちとの接触の仕方など、随時場面に応じて対応していくこと・健康に対する意識の向上・児童生徒の学びを保障する責務・感染症に対する差別、偏見、誹謗中傷を許さないこと・臨時休校等であっても児童生徒の学びを保障する責務。

Q

【再質問】

①教育長の学校訪問の考え方や、予定などについて伺います。

②12歳以上のワクチンの接種の検討について伺います。

A

【入野教育長】

①学校訪問は、計画的に予定があります。学校に直接赴き、教育環境の整備、子どもたちや教職員のサポート体制の拡充に反映できたらと考えます。

②12歳以上の接種については、例えば受験を控えた子どもをはじめ、優先的に早期に進めたいという思いはありますが、市民全体の接種の優先順位を考えるのは、市としての役割、使命でありますことから、今後もこういった思いを保健福祉部と協議しながら、検討してまいりたい。

その他の質問

コロナ禍での差別を事前に防ぐシトラスリボン運動を学校で行うことは手段の一つとして有効と考えますが、ご所見をお伺いします。



奥谷 崇
〈一括質問〉

新規コミュニティ交通事業の検討状況と今後の方向性について

これまで行ってきた検討の経緯と現状における課題、中村南・西根南地区における導入までのスケジュール、運行方法の具体策について伺う。

A

【船沢都市政策部長】

新たなコミュニティ交通の導入にあたり、地元協議会を組織して導入する車両を協議したところ、地区の状況に鑑み、マイクロスバス、ワンボックス車という意見が多数ありました。目的地については、事前のアンケート調査では、荒川沖駅、イオン土浦、霞ヶ浦医療センター、市役所の要望が多く、参考にすることとしました。

運行方法は、大きく分けると2つの方法があり、路線バスのように時間、路線を固定する定時定路線型と、利用者の事前予約に応じて運行経路やスケジュールに合わせて運行するデマンド型があり、地域の実情に合った組合せを協議する必要があります。

今後は、10月の試験運行開始に向け、地元協議を進めるとともに、試験運行開始後の公共交通の維持も見据え、自分たちのバスとして認識をもって利用していただけるよう、地元協議会との協議を続け、運行方法を改善しながら、中村南・西根南地区における持続可能な新規コミュニティ交通の導入に向け、取り組んでまいります。



Q

【再質問】

これまで公共交通不便地域において、コミュニティ交通を新たに導入する際に、運行経費等の3割以上を運賃収入及び地元負担で確保するという条件がありました。公共交通不便地域解消の観点からも、導入の条件となる地元3割負担をそろそろ再検討する時期に来ていると思いますが、いかがお考えでしょうか。また、公共交通という言葉の概念から考えても、最低限の移動手段の確保に関する費用は、行政が負担するのが行政サービスの本来の姿だと考えます。今後コミュニティ交通の路線拡大にあたって、地元3割負担について、市長の見解を伺います。

A

【安藤市長】

コミュニティ交通の運行につきまして、これまでは運行経費等の3割以上の運賃収入及び地元の負担で確保するという条件があり、地元では導入したいがその足を踏んでしまつ状況であったと存じます。

今回、市内全域を視野に入れて、地域の実情に応じた公共交通の配置に向け、地元負担は改めて検討することとして、土浦市域公共交通網形成計画に沿って、まずは人口密度が比較的高く公共交通整備の必要性が高い路線の沿線地域である中村南・西根南地区を皮切りに、行政の財政負担によるコミュニティ交通を導入してまいりたい。

その他の質問

プレミアム付き商品券発行事業の成果と今後の課題について



久松 猛
〈一問一答〉

Q ごみ処理基本計画について

① 第2次ごみ減量基本計画(2012年度から2021年度)における家庭系ごみ及び事業系ごみの減量目標に対する達成見通しについて

② 第3次ごみ減量基本計画の策定状況について及び、事業系ごみの実効性ある計画の策定について

A 塚本市民生活部長

① 減量化目標の達成見通しについては、新型コロナウイルス感染症の影響で経済活動の停滞や外出自粛など、昨年度と引き続き状況が変わらない中では、家庭系ごみ、事業系ごみとも昨年度と同様の排出量が見込まれることから、横ばいでの推移となり、計画目標値の達成は難しいものと考えております。

② 第3次土浦市ごみ処理基本計画の策定スケジュールは、アンケート調査の実施、土浦市廃棄物減量等推進審議会の開催、パブリックコメントの実施を予定しております。家庭系ごみは、有料化によりごみ排出量が減少してきております。事業系ごみ減量化のために、効果的な対策を検討し、計画に位置付ける必要があります。先進地の取組を参考に、本市の特性に合った実効性のある計画を策定してまいります。

Q

再質問
事業系ごみの現状認識はどのようになっているか。

【塚本市民生活部長】
令和2年度の事業系ごみについては、コロナの影響で経済活動が

停滞したことにより減少してはいますが、イレギュラーな条件下での数値であり、現段階での目標達成は難しいと考えています。

再質問

本市の廃棄物の処理及び再利用に関する条例で、市長は多量の一般廃棄物を生ずる者に対し、一般廃棄物の減量に関する計画作成について指示することができる。があるが、事例はあるか。

A 塚本市民生活部長

そのような事例は、ありません。

再質問

今の条例の下では、第3次の基本計画の下でも事業系ごみの減量にはつながらなかと懸念するがどうか。

A 塚本市民生活部長

先進自治体の積極的な条例を参考に、必要があれば条例等の改正も含めて審議会等で検討したどうかと考えています。

その他の質問

新型コロナワクチン接種の取組について

① 集団接種の予約状況及び課題

② 65歳以上の高齢者の7月末までの2回接種完了の見通し、集団接種及び個別接種それぞれの接種人員の見通し

③ 有基礎疾患者、高齢者施設従事者のワクチン接種開始の時期及び2回接種完了の見通し

④ 右記以外の一般市民のワクチン接種開始時期及び2回接種完了の見通し

⑤ ワクチン接種計画に対応したワクチンの入荷の現時点での見通し



柏村 忠志
〈一問一答〉

Q 学校給食についての牛乳に関しては、2006年9月の一般質問を行っておりますが、現在、基本的に変わっておりません。特に、女性ホルモン入り牛乳は再度の質問です。

A 入野教育長

認識をいたしております。市の教育委員会において、様々な点から情報収集を行ったところ、本市としては牛乳が安全であると確信しております。今後も引き続き、安全で安心なおいしい給食を子どもたちに提供してまいります。

再質問

乳牛から物理的に365日のうち300日を搾取る異なる性質は、よく認識しているか。

A 入野教育長

専門機関である内閣府、国の機関、外国の調査研究機関、民間の調査結果など専門家の意見を十二分に、情報を精査した上で判断することが適切と考えています。

再質問

いわゆる女性ホルモン入り牛乳を飲んでいてということとはどう理解しますか。

A 入野教育長

女性ホルモン入りの牛乳を飲むことについては客観的に考えると、御意見のとおりだと思えます。しかしながら、牛乳そのものは、優良なタンパク質とか様々な面でメリットがあると言われております。いろいろな調査研究機関の調査結果に基づいて、極めて微量で、体に

影響がないという結果が出ている以上は、そういった牛乳の方のメリットを優先することが、行政として適切ではないかと考えます。

再質問

毎年報告されている教育に関する事務の管理及び執行状況に関する点検、評価報告書、学校給食の充実の点検、評価報告シートがありますが、その給食食材の項には、食材の牛乳はありませんがどうしてでしょうか。

A 入野教育長

特に法令上、ルールはありませんが、こういった地場産業、地産地消のことも含めて、精度の高い内容に評価シートを改めることを検討してまいります。

その他の質問

① 給食時間の中で、実質的に食べる時間は何分くらいですか。中・四・都和中。

② 教員の授業準備時間はどのように確保されているのか、下高津小学校2年生、大岩田小学校2年生、一・中、四、都和中。

③ 校則は、「子どもの権利条約」に照らして改善すべき事項について伺います。対象中学校は一・中・四・都和中。



平石 勝司
〈一括質問〉

若者の移住・定住の促進に向けた取組について

① 「東京圏への二極集中の是非」は、本市の人口減少の克服(抑制)に向けた大きな課題の一つと考えます。本市の人口減少の克服(抑制)に向けた考え方について、見解をお伺いします。

② コロナ禍の長期化に伴い、保護者の失業やアルバイト先の減少など経済的に困窮している学生に対して、安心して学業が続けられるよう自治体が積極的の手を差し伸べる必要があると考えますが、本市では学生や若者に対して現在どのような生活支援を行っているのでしょうか。

③ 東京圏内など、市外に在住している若者に対し奨学金を活用した地方定着を促進してはいかがでしょうか。市の見解をお伺いします。

A 安藤市長

① 都会での暮らしを経験した若い人たちが、人生の次のステップに進むときに土浦を選んでもらえるよう、これら地域の宝を最大限に生かして、本市の魅力を創造し、戦略的に発信することで、土浦ならではの魅力を高めながら、東京圏に隣接する、近接するという地理的優位性との相乗効果によりまして、人口管理の強化に取り組んでまいります。そして、これから生まれてくる子どもたちが育っていく中で、地域の宝に触れ親しみ、土浦を大好きになり、いずれ大人になったときは、土浦に生まれてよかった、土浦で育ってよかった、

結婚しても土浦に住みたい、土浦で子育てをしたい、そして土浦で最期を迎えたいと心から誇りに思い、明日の土浦を担っていただけるよう、より一層の独自性を発揮しながら、まちづくりを行うことで、人口減少を克服し、夢のある元気のあふ土浦を実現してまいります。

【川村市長公室長】

② 低所得世帯の学生が活用可能な支援制度として「生活福祉資金緊急小口資金」の特例貸付、必要な資金をほかから借り受けることが困難な世帯に属する方に「生活福祉資金貸付制度教育支援資金」・「離職等により経済的に困窮し、住宅を失った、または失う恐れがある方には「住居確保給付金」、一般的な、本市独自の支援策として、コロナの感染拡大の影響により、本市への帰省を含む移動や、アルバイトなどの経済活動が一部制限される状況の中、本市在住の保護者の元を離れ、茨城県外に在住しながら学業に励んでいる大学生等へ、土浦ブランド認定品を中心とした地域産品及び本市のPRパンフレットを送付する「土浦市ふるさと学生応援事業」を実施いたします。

③ 奨学金返還支援制度は、若者の移住・定住につながる新たな視点ですので、今後、国・県の動向や先進事例、周辺自治体の状況なども参考にしながら奨学金制度全般の実態の把握に努めることにも、関係部署と連携し、若者の移住・定住の促進を図る様々な方策について調査研究を行ってまいります。

その他の質問

地域防災力強化のための消防団員の処遇改善と担い手確保へ向けた取組について



下村 壽郎 <一括質問>

農業行政について

Q1 本市における農業振興地域制度について、次の3点を伺う。

① 農業振興地域制度の目的達成度についてどのように評価されているのか伺う。

② 農業振興地域内ではどのような振興策があるのか。その具体例について伺う。

③ 今後の見直しは、いつ頃の時期となるのか。

Q2 農地集約の現状と今後について、次の3点を伺う。

① 耕地面積と耕作放棄地面積の現状はどのようになっているか。

② 農地集約の現状はどのようになっているか。

③ 農地集約の今後の展開について伺う。

A

【佐藤産業経済部長】

① 目的達成度を数値化したものはありませんが、農業振興地域内の耕作放棄地などの課題があります。

② 集積を促進する取組として、市で作成した人・農地プランによる担い手に、農地中間管理機構を通じて農地集積を行った地域には地域集積協力を、農地の維持保全を支援する取組として農業生産基盤の保全に向けた対策として多面的機能支払交付金があります。

③ 直近平成27年に計画の見直しを行っており、概ね5年が経過した

ため、今年度内での計画の見直し完了を目指しています。

A2【佐藤産業経済部長】

① 平成22年から令和2年までの10年間で390ヘクタール減少している状況です。

② 現在市内の耕地面積の35%の農地が認定農業者などに集約されています。

③ 農地集約を推進する制度改正など、国や県の動向を注視し、現状分析を行い、地域の農地の将来像につながります。農地プランの作成を図ってまいります。

Q

再質問

農業振興地域における振興策は、地域事情を勘案したものと なっていますか。

A

【佐藤産業経済部長】

農業振興地域における振興策は、市内の全地域を対象に、水田農業を中心とした地域、畑作を中心とした地域など、地域により農業形態が違ってくるため、振興策の内容は異なると思われま

Q

再質問

今後の農業についての所見をお伺いします。

A

【安藤市長】

高品質な農作物が生産されており東京へのアクセスの良さなど地理的な優位性からも、土浦の農業は非常に高いポテンシャルを持っていると感じており、広くアピールしていきたいと思っております。

このすばらしい環境の下で、若い人やこれから農業をやりたいという方が自信と誇りを持って活躍していけるよう、土浦発の魅力ある農業、活力に満ちた農業、そして何よりも稼げる農業、その実現に向けて、全力で取り組んでいきたいと思っております。



鈴木 一彦 <一問一答>

各公園整備の方針と今後の方向性について

Q 常名運動公園

① 常名運動公園

② 新治運動公園

③ 川口運動公園

の役割や機能をどのように考え、どのように整備していく方向なのか。

A

【船沢都市政策部長】

① 常名運動公園は、第8次総合計画の中で市民のレクリエーションの場、健康づくりの場として、都市の魅力を高める水、緑、憩いの拠点とされており

都市計画決定後、難航している用地取得においては、取得済み地の部を活用したシクロクロス等の練習コースとしての利用も図られています。さらには、新たな多目的広場として、駐車場と合わせた約8,000平方メートルの暫定整備を進めています。

市としては、まず用地取得を最優先の課題として捉え、財政状況、社会経済情勢等を踏まえ、施設規模等を検証しながら取り組んでまいります。

【望月教育部長】

② 新治運動公園は、筑波山麓の景色の下、主にサッカーで利用されている多目的グラウンドを始め、幅広く多くの利用者にスポーツを楽しんでいただくことを目指

今後の整備計画は、令和5年度の供用開始に向けて、多目的グラウンドの人工芝化並びに増設する駐車場の実施計画に今年度着手しています。

③ 川口運動公園は、霞ヶ浦を臨む景観、土浦駅からのアクセスなど立

地条件も良いことから、長きにわたって市の中心的な運動公園として、利用者に親しまれております。

再質問

新治運動公園の人工芝の実施設計の発注は行っているか。

A

【望月教育部長】

新治運動公園多目的グラウンド人工芝化実施設計業務委託を5月25日付で契約を締結しています。

Q

再質問

新治運動公園の人工芝化は、サッカー協会からの陳情から始まっているが、使いやすいサッカー場とするのに、サッカー協会からの意見を聴くのか考えを伺います。

A

【望月教育部長】

実際に利用されているサッカー協会の代表の方などを含めて、意見を伺う場を設け、今後の整備内容等についての情報交換も行ってまいります。



その他の質問

① 水郷公園について、洗い場を整備するということは、キャンプ場のような使い方を考えてのことなのか

② 川口二丁目(サウンディング調査)の今後の進捗状況、コロナ禍の中で今後の見直し



篠塚 昌毅 <一括質問>

土浦市公立保育所民問活力導入実施計画(後期計画)について

Q 土浦市の基幹保育所として子育て支援拠点となる役割を担うとした次の3か所の公立保育所の今後の方向性についてお伺いします。

○北部・新治エリア 神立保育所
○中央エリア 東崎保育所、天川保育所
○南部エリア 荒川沖保育所

① 老朽化した施設の改修工事等を検討しているのか

② 入所率の低下と保育士不足の対応はどのようにするか

③ 中央エリアの東崎保育所と土浦幼稚園を統合し、幼保連携型の認定こども園を設置するが、他のエリアも同様の幼保連携型施設にする事を検討しているか。

A

【加藤こども未来部長】

① 築40年以上が経過している神立保育所、荒川沖保育所は、老朽化による建物の維持管理に関する課題がありますが、大きな財政負担が想定されることから、当面は施設の定期点検等の実施により、計画的に必要な最小限の施設修繕を行うことと対応し、長寿命化に係る大規模な修繕等については、今後の国の動向や少子化の進行による保育需要等を踏まえながら検討してまいります。

② 入所率の低下については、産休明けや乳幼児を受け入れる民間の保育施設の増加や、民間の新しい

園舎の保育所を希望する保護者が多くなっていること、新型コロナウイルス感染症の影響などから、入園の時期を見合わせる方も多くなつたことなど、様々な要因が考えられます。

保育士につきましては、産休・育休を取得している代替職員の配置ができません、実質的な職員数は不足していますが、今後の職員の復帰、令和4年度の保育士の募集再開により安定的な保育士の確保が可能となると見込まれます。

③ 中央エリア以外のエリアにおける認定こども園への移行については、公立の認定こども園として本市の保育行政にどのような影響をもたらすか、その運営状況を十分に検証し、ほかの民間幼児教育・保育施設などとのバランスや少子化による社会情勢の変化、国の動向を注視しながら、施設の規模や形態を考慮し、慎重に検討してまいります。

Q

再質問

老朽化した荒川沖保育所をどのようにしていくか。新たに設置する考えはあるか。

A

【加藤こども未来部長】

荒川沖保育所は、最小限の修繕費を確保しながら今後の長寿命化等に必要な課題を検討します。公立保育所民問活力導入実施計画(後期計画)において公設公営の基幹保育所として存続する方向性を打ち出しており、諸々の課題を整理しつつ、少子化による社会情勢の変化や国の動向も注視しながら、より効果的な運営の手法を模索してまいります。

その他の質問

子育て支援について



福田 一夫
〈一括質問〉

Q 国の新資格「社会教育士」について

① 行政上の位置づけは、どのような立場か伺います。

② 今後、活躍の場を増やすには、どうしたらよいか伺います。

Q2 今後増えることが予想される空きビル問題について

① 空きビルの抱えるリスクと問題点について伺います。

② 有効な解決法を伺います。

A

A1 望月教育部長

① 社会教育士は、講習や養成課程の学習成果を社会の教育活動に生かせるよう、令和2年度に制度化された称号ですが、行政上の位置付けはありません。

② ファシリテーション能力、プレゼンテーション能力、コーディネート能力や学習成果を生かし、NPOや企業等の多様な主体と連携協働して、社会教育施設における活動のみならず、多様な分野における学習活動の支援を通じて、例えば福祉や防災をコーディネートする方、観光の案内などに携わる方、地域コミュニティを主導する方など、あらゆる場面での活躍が期待されています。

A2 塚本市民生活部長

① 長年放置されている空きビルは、その敷地の雑草の繁茂、樹木の伸長、壁面の剥離や看板等の破損といった管理不全な状態に陥るリスクがあり、壁面の剥離や看板等の

破損が放置されることで、それらが落下し、通行人や周辺の建築物等に被害を及ぼすといった可能性がります。また、建築物への不法侵入などのリスクがあり、防犯上の観点からも周辺への悪影響が懸念されます。

Q 空家対策特別措置法の特定空家等に認定し、行政指導等を行うこととなり。管理をしている段階で各種法令に基づき安全管理に努め、常時適正に管理するよう関係課と連携して、所有者等に対し働きかけることにより、管理不全の空きビルとならないよう努めてまいります。

Q

再質問

建築途中で建設が中断されている小松地区の空きビルがあります。防犯上の対策はどのようになっているか伺います。

A

A 船沢都市政策部長

防犯面の対策として、敷地への無断侵入を防ぐための敷地周辺の侵入防止のロープの設置、鋼板等による建物入り口の閉鎖等を所有者が実施していますので、引き続き随時見守りを行い、所有者と連絡を取りながら、危険な状況とならないよう指導してまいります。



吉田 千鶴子
〈一括質問〉

Q 誰一人も取り残さない教育へ

① 入野浩美新教育長の抱負について伺う。

② 本市のGIGAスクール構想、小中学校に一人一台のタブレット端末の本格運用はいつ頃になるか伺う。

③ GIGAスクール構想のスタートに当たっては、再度教員の皆様に構想的意義を徹底を図ること、新たな教育環境の活用と教員の活用力の向上について。

④ 不登校の児童・生徒や感染不安児、病気療養中の児童生徒等の学びを保障する、タブレット端末からの授業のライブ配信について。また、自宅でオンライン学習の場合の出席扱いについて伺う。

A

A 入野教育長

① 子どもたち一人ひとりの個性を大切にすることを、学校が子どもたちにとって安全・安心に過ごせる場所となるよう、教室環境や、ゆとりある教員の指導。

② 子どもたち一人一台端末の本格的な活用につきましては、2学期の可能な限り早期に対応できるように努めてまいります。

③ GIGAスクール端末を活用して子どもたちの可能性を広げることが本構想の意義であり、各学校に指導してまいります。教員の活用向上に向けた研修についても計画的に進めてまいります。

④ 感染症拡大に伴う学校の臨時休校期間や、感染不安により登校を控える児童生徒に対して、ICTを活用して学びの保障を行うっていくことは、大変重要であると考えており、本市は県教育委員会が作成した授業動画で、県内の児童生徒が教科書別にオンデマンド配信でいつでも視聴ができるよう、GIGAスクール構想の活用を各学校に推奨してまいります。

Q

① 本市のGIGAスクール構想、小中学校に一人一台のタブレット端末の本格運用はいつ頃になるか伺う。

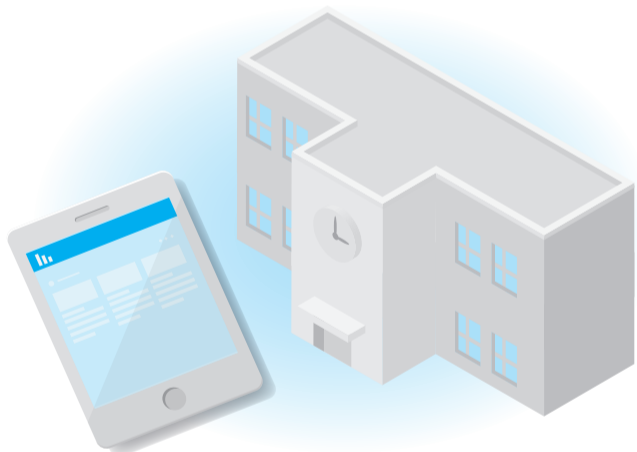
② 本市のGIGAスクール構想、小中学校に一人一台のタブレット端末の本格運用はいつ頃になるか伺う。

③ GIGAスクール構想のスタートに当たっては、再度教員の皆様に構想的意義を徹底を図ること、新たな教育環境の活用と教員の活用力の向上について。

④ 不登校の児童・生徒や感染不安児、病気療養中の児童生徒等の学びを保障する、タブレット端末からの授業のライブ配信について。また、自宅でオンライン学習の場合の出席扱いについて伺う。

その他の質問

社会的孤立防止対策「誰も孤立させない、ひとりぼっちをつくらないためのつながり、支えあう社会の構築へ」について



目黒 英一
〈一括質問〉

Q1 メンタルヘルスケアの取組みについて

① 市民へのストレスや悩みの相談体制について。

② 市職員へのストレスチェックの取組について。

Q2 大規模災害時の避難所運営について

長期保存が可能で、燃料の劣化がなくボンベの設置や移動、調達が容易なLPガスを使用した非常用発電機を今後導入する考えはあるのか伺います。

A

A1 塚本保健福祉部長

① ストレスや悩みなど精神面での相談は障害福祉課、産後ケアなど母子の相談であればことも包括支援課、経済的な悩み相談であれば社会福祉課や社会福祉協議会を案内するよう福祉部門を1階フロアに集約し、市民の方ごどのような用途で来庁したかを聞き取るコンシェルジュを配置し、適切な担当部署及び窓口へ案内できるシステムを構築しております。

さらに複合的な問題がある場合は、関係課が連携して解決を図っております。

【羽生総務部長】

② 平成25年度より、職員に対するストレスチェックを開始し、受検率の向上に努めております。ストレスチェックの結果が高ストレスと判定された職員のうち産業医から面談が必要と判断された職員に対して、産業医面談を実施しております。

LPガスを使用した発電機は、災害に強いことで注目され、ガソリン式発電機と比較して燃料の経年劣化がないなどメリットが大きいことから、導入を検討し、多様化を図り、避難所への安定した電気供給を目指してまいります。

再質問

① メンタルヘルスに関する有資格の人数と、資格を活かした市民へのメンタルヘルスサポートの取組について。

② 市民がセルフチェックできる取組として、メンタルヘルスサポートサイト「ココロポ」を導入する考えはありますか。

A

A 塚本保健福祉部長

① 臨床心理士3名、保健師が27名、社会福祉士が12名います。専門職として雇用している保健師などの有資格者は健康増進課など保健福祉部内の各課に配置され、それぞれの保健指導の中で相談等の支援を行います。

② 「ココロポ」は、国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センターが、コロナ禍でのメンタルヘルスをサポートするサイトで、本市においても早々に市ホームページとリンクを行ってまいります。

その他の質問

大規模災害時の要配慮者への対応について



議会内人事

第2回定例会において次のとおり常任委員会及び議会運営委員会の委員を選任しました。

委員長 今野 貴子 副委員長 吉野 博史 委員 島岡 宏明 委員 篠塚 昌毅 委員 柴原 一郎 委員 海老原 鶴一郎 委員 吉田 千鶴 委員 久松 猛子	委員長 海老原 一郎 副委員長 平石 勝二 委員 塚野 圭司 委員 今野 貴子 委員 下村 英一 委員 鈴木 彦彦 委員 篠塚 昌毅	議会運営委員会の委員が 変わりました。
委員長 勝田 達也 副委員長 今野 貴子 委員 奥谷 崇 委員 下村 壽郎 委員 平石 勝二 委員 柏村 忠志 委員 吉田 博史 委員 吉田 千鶴 委員 海老原 一郎	文教厚生委員会の委員長、 副委員長が変わりました。	総務市民委員会は変更あ りませんでした。
委員長 平石 勝二 副委員長 柏村 忠志 委員 勝田 達也 委員 小坂 博史 委員 柳澤 明博 委員 矢野 賢二 委員 寺内 充 委員 内田 卓男	委員長 下村 壽郎 副委員長 奥谷 崇 委員 田黒 英一 委員 目黒 雄一 委員 矢野 貴彦 委員 塚原 圭彦 委員 鈴木 彦彦 委員 福田 一夫	産業建設委員会の委員長、 副委員長が変わりました。

令和3年第3回定例会日程 (※最新情報は市議会ホームページ掲載)

日	曜	開議時間	
8/27	金		招集告示・議会運営委員会
28	土		
29	日		
30	月		一般質問通告開始
31	火		一般質問通告締め切り
9/1	水		
2	木		
3	金		請願・陳情受付締め切り
4	土		
5	日		
6	月		
7	火	午前10時	本会議(招集日)
8	水		休会(議案等の調査)
9	木		
10	金		
11	土		
12	日		
13	月	午前10時	本会議(一般質問)
			議案質疑通告締め切り(午後1時)
14	火	午前10時	本会議(一般質問)
15	水	午前10時	本会議(一般質問・議案質疑)
16	木		休会(常任委員会) 討論通告締め切り(委員会終了日の翌日)
17	金		
18	土		
19	日		
20	月		
21	火		
22	水		
23	木		
24	金		
25	土		
26	日		
27	月		
28	火		
29	水		
30	木		
10/1	金	午前10時	本会議(最終日)

政治倫理審査委員会委員が決定しました

政治倫理審査委員会とは

議員が市政に対する市民の負託に応えるため、その倫理性を自覚し、公正かつ清廉を基本姿勢とする議員活動により、政治倫理の確立を期すことを目的として、土浦市議会議員の政治倫理に関する条例により設置された機関です。今回改選となり、任期2年で8名の方が市長の推薦を得て、議長が委嘱しました。委員は、専門的識見を有する方と市民の区分から構成されています。(委員名は五十音順)

専門的識見を有する方	市民
秋山 環 氏 堀 賢介 氏 安田 英二 氏	岡島 学 氏 田口長八郎 氏 中川喜久治 氏 眞山 淑枝 氏 渡邊百合子 氏

令和2年度議会報告会を動画公開しています

令和2年度分の議会報告会につきましては、動画の配信により、議会報告会を実施しました。市議会ホームページから視聴できますので、ぜひ、ご覧ください。

土浦市議会 議会報告会 [検索](#)

インターネットで上記の字句で検索いただき市議会ホームページの議会報告会の項目をご覧ください。



【編集後記】

土浦市議会では、第2回定例会から本格的なペーパーレス化がスタートしました。昨年末からの準備移行期間の中で、全議員へのタブレット端末の貸与をはじめ、印刷や製本されていた議案書や資料等のデータ化、クラウドを活用した文書の共有システムの導入、全議員参加のもと講師によるオンライン研修会を開催するなど、議会のICT化を進めてまいりました。今後、さらなる活用を進めるとともに、市民の皆様にも「開かれた議会」を目指して、より一層取り組んでまいります。

(委員 平石 勝司)

広報広聴委員会

委員長 勝田 達也	副委員長 今野 貴子	委員 奥谷 崇	委員 下村 壽郎	委員 平石 勝二	委員 海老原 一郎	委員 吉田 千鶴	委員 吉田 博史	委員 柏村 忠志
-----------	------------	---------	----------	----------	-----------	----------	----------	----------